

逢瀬さくらの里



さくらには人を元気にする
やさしい力があります。

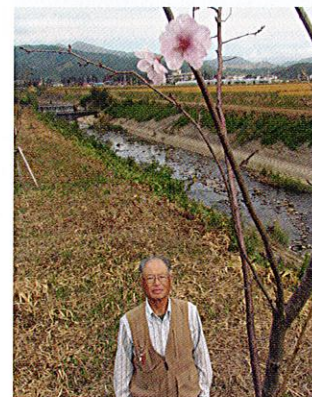
郡山市逢瀬町を流れる逢瀬川沿いには、二十年ほど前に地域の先輩方が植栽した約700メートルの桜並木があり、春には桜を愛でるたくさんの人が集まってきました。震災のあった春、疲弊した私たちの心を癒してくれたのはこの桜でした。この桜並木をさらにつなげて行き、町全体を桜の里にしたいとの思いから仲間を募って始まったのが「逢瀬さくらの里」づくりです。

(公財)国際花と緑の博覧会記念協会からの助成金、企業や市民の皆様からのご支援をいただき、これまで、逢瀬川、逢瀬公園、地域の小中学校や公共施設に、約150本の桜を植栽しました。春と秋に開花する二季咲きの品種アーコレード天狗巢病にかかりにくいジンダイアケボノ、新品種のマイヒメなど8種類の桜を選びました。このうち逢瀬川沿いには、春は菜の花、秋はコスモスとの競演も楽しめるよう、草刈り施肥、剪定、チップ敷きなどの作業に取り組んでいます。

郡山市には、日本で最古級のソメイヨシノがある開成山公園をはじめ、笹原川の千本桜、中田町の紅枝垂地蔵ザクラなどの桜の名所が数多くあります。

さくらには人を元気にするやさしい力がある、私たちはこの力を信じ、桜の新名所「逢瀬さくらの里」づくりに取り組んでいきます。

逢瀬さくらの里 会長
内田 清太郎



逢瀬公園さくらの広場では、毎年4月、「逢瀬公園さくらまつり」が開催されます。満開の桜が咲き競うもとでお花見が楽しめ、多彩なイベントで賑わいます。

逢瀬さくらの里

事務局/郡山市逢瀬町河内字東長倉1-3
逢瀬公園・緑化センター事務所内

TEL.024-957-2221
FAX.024-957-2219

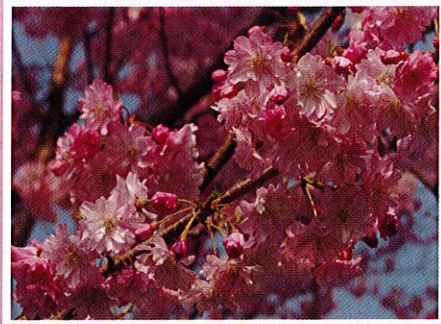


- 郡山駅前8番ポールから、市役所・新さくら通り経由河内行きに乗車し、緑化センターで下車。(約35分)本数が少ないため、運行時間の確認が必要です。
- 東北自動車道郡山 I.C. から車で約20分、郡山南 I.C. から約25分。

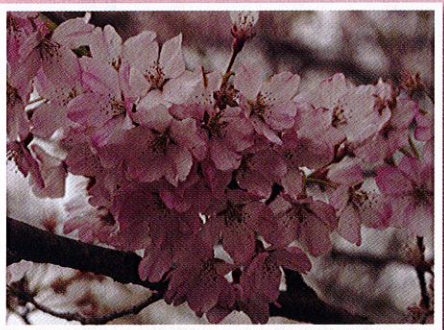
「逢瀬さくらの里」が選んだ新しい品種のサクラ、8種類を植栽。



英国で大山桜と小彼岸の交配により育成された品種。英国での開花は春ですが、日本では春と秋の二季咲きとなっています。十月桜に比べ、花が大輪で花色もやや濃い色の美しい品種です。(逢瀬川沿いに55本植樹)



日本花の会が創立50周年を記念して創り出した新品种。多くの八重桜は葉が出てから開花しますが、マイヒメはソメイヨシノと同じように葉が出る前に花が咲きます。そのため、樹木全体が花で覆われるので豪華に見えます。また、寿命が長く、天狗巣病にかかりにくい桜です。(逢瀬川沿いに14本、逢瀬公園に14本逢瀬行政センター逢瀬公民館に3本植栽)



原木は東京都府中市神代植物公園にありアケボノと呼ばれていましたが、西田尚道により違う品種であることが発見され、林弥栄により植栽地と旧名に因んで名づけられました。天狗巣病にかかりにくい桜です。(逢瀬川沿いに40本植樹)



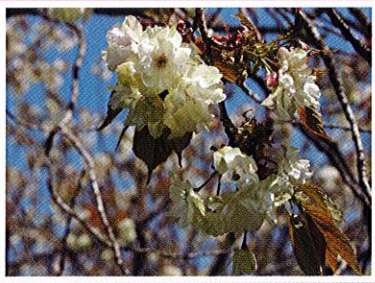
オカメ
英国の桜研究家 Ingram が寒緋桜と豆桜を交配して作りだした品種で、あまり大きくならないので鉢植えなどにも利用されます。一重咲の桜。(多田野小学校堀口分校に3本植栽)

コシノヒガン(越の彼岸)
富山県南砺市にある自生地は県の天然記念物に指定されています。江戸彼岸と近畿豆桜の雑種であると言われています。一重咲き(多田野小学校に3本植栽)



イチヨウ(一葉)
東京の荒川堤で栽培されていた品種です。花の中にある1本の雄しべが葉化していることからこの名がつけられました。八重咲きの桜。(河内ふれあいセンターに3本植栽)

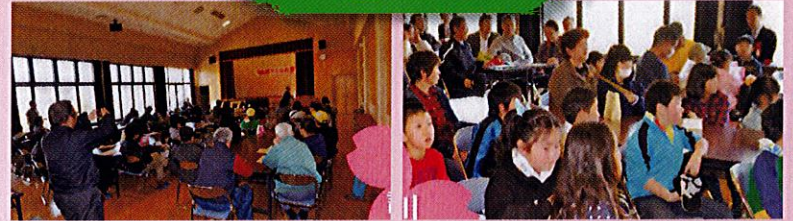
ウコン(鬱金)
東京の荒川堤で栽培されていた品種で、花色がウコンという植物の根茎で染めた色に似ていることから名付けられました。八重咲きの桜。(河内小学校に3本植栽)



センダイヤ(仙台屋)
高知市内の仙台屋という店の庭にあり、牧野富太郎によりこの名がつけられました。一重咲きの桜。(逢瀬中学校に3本植栽)



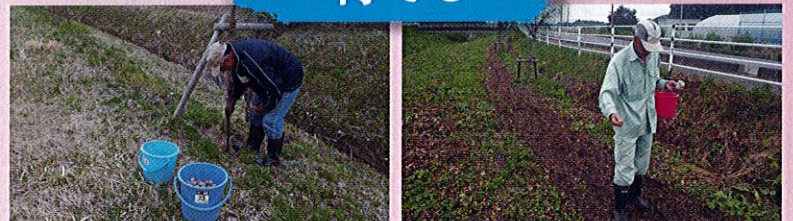
植える



▲平成27年3月、地域の子どもたちを含む約120名の市民をお迎えし、「記念植樹祭」を開催しました。



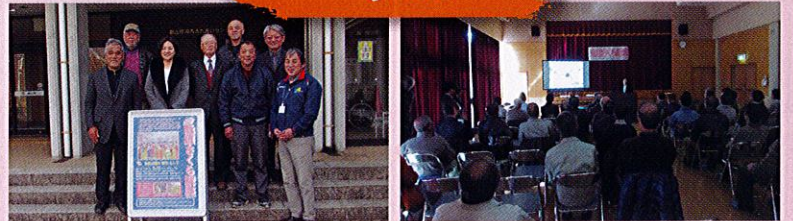
育てる



▲植栽地の草刈り作業やチップロードの整備を会員総出で行っています。



学ぶ



▲日本花の会や弘前公園等から樹木医を招き、「逢瀬さくら講座」を開催しています。

※このリーフレットは(公財)国際花と緑の博覧会記念協会の助成金により作成しております。